



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と  
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と  
ひ  
ツムぐ学生

第6号

2017年4月14日

編集 田中麻稀  
(SP大学4年)

2017年4月14日(金)

## ようこそ、藤本沙樹SP!!

今日は、藤本沙樹SPと私の2人で活動しました。



沙樹SPは、昨年度の夏・冬のわく算に参加してくれていて、今年度からWSPの仲間になりました。初の3年生メンバーだったので、誰かに紹介してもらったのかな?と思い聞いてみたところ、なんと!濱島先生の妹さんと友達で、ずっとWSPの活動を勧められていたのだそうです。東浦の自宅から岐阜聖徳学園大学まで通っており、授業も忙しい中、3年前期から活動に参加する姿勢はさすがです。金曜日1, 2時間目に活動予定なので、予定の合うSPは是非金曜日へ!

(ちなみに、金曜日は全体的に人数が少なそうなので、今がチャンス!)

1時間目は、沙樹SPのガイドしながら、校内見学をしました。わく算の時とは違う、児童の日常を見学した感想はどうだったでしょうか。初めは、いろいろな児童がいることに戸惑い、悩むことがあると思います。半年間WSPの活動をしてきた私も、まだまだ悩むことがたくさんあります。一つ一つ支援の幅を広げて、現場ならではのことをたくさん吸収していけるよう、活動を有意義なものにしたいですね。

2時間目は、早速1年1組に入ってもらいました。上の写真もですが、まだ小さい1年生の目線にしっかり合わせて支援を行っています。目線を合わせてもらえるだけで、安心して取り組める児童は増えます。また、授業中にお手洗いへ行きたくなった児童の手を引く姿も何回か見られました。動きがとてもスムーズです。初日にこれだけ動いている沙樹SP……、大物の予感がします。

